



**京都版**  
 日本教育新聞社  
 関西支社  
 大阪市北区梅田2-1-22 (〒530-0001)  
 電話 06(341)6111  
 FAX 06(345)0817  
 京都支局 〒612-8016  
 京都市伏見区桃山町美奈8-13  
 電話 075(603)0372  
 FAX 075(603)0378  
 京都版は毎月第2土曜日の発行です。  
 身近な話題や教育情報は上記までお寄せ下さい。

## 亀岡市教委で開講

### カウンセリング・マイ養成講座

児童生徒や保護者が持つ いじめや不登校などのさまざまな悩みをこたえる「身近な相談役」を育成するため、亀岡市教育委員会は七月、「第二期カウンセリング・マイ」養成講座の初級コースを開講した。

地域コミュニティの弱体化や喪失、崩壊が進行し、地域の教育力の低下や分断化が加速しているため、昔のように、地域の「長老」のような人を行政側で養成し、地域の教育力を復活させようという思い。

同講座は全五回で、定員は四十人、甲南大学の谷口文京教授、大阪市立大学生活科学部の倉戸ヨシヤ学部長が講師を務める。初級コース、中級コース、上級コースと各一年で、三カ年の継続卒業。受講生は、カウンセリングの心構えから、心理治療のメカニズム、事例研究などを学ぶ。講座終了後も年数回の専門講座を受講する。

## 「身近な相談役」を育成 地域の教育力復活に向け



十年に文部省から「いじめ対策地域連携モデル市町村実施事業」の指定を受け、系統的な啓発活動を進めている。いじめや不登校などの問題行動の原因として指摘される「心の問題」を解決するため、箱庭のまわりに受講生が集まり、制作者がどういう意図でつくったかを説明し、別

応できる人材を育成することが同講座の目的。市内八中学校区を中心に、相談や指導にあたる人材を養成し、速やかに相談できる体制の整備を目指している。昨年、第一期が開かれ、第二期がこの七月に開設された。

亀岡市教委の担当者は、「地域の中に、話を聞てくれる人、気軽に相談できる人材を育成する。人づくりに時間はかかるが、すぐに成果が出るものではないが、地域が共に、子どもを育てていくために、気長に作り上げていく。相談機関は敷居が高い、行く勇気がないという人には非常に意味があるだろう」と話している。

八月一日、同市厚生会館で行われた第二講では、第一講に続き谷口教授が、心理療法の箱庭実習を中心に講座を進めた。「箱庭療法」とは、砂箱の中に模型や玩具などを置くことで、抑圧されたコンプレックスの解放や見え隠れする可能性の表現を援助するための治療法。前講で受講生がつくった箱庭をスライドに映し出し、谷口教授が「分析」として一つの解釈を話した。その後、制作した受講生と対話しながら、一つひとつの玩具を置いた意図や、箱庭の構成、つくっているときの気持ちや状況を聞き、谷口教授がさらに解釈を加えた。

休憩時間を挟み、その間に三人の受講生がつくった箱庭のまわりに受講生が集まり、制作者がどういう意図でつくったかを説明し、別

1998年(平成10年)5月22日 金曜日 41918号 (日刊)



朝日新聞大阪本社  
 大阪府北区中之島2-2-2  
 電話 06-231-0181 4630-8211  
 ©朝日新聞大阪本社1998

環境教育学会の大会  
 あすから柏原で開催  
 日本環境教育学会の第九回大会が二十三、二十四両日に大阪府柏原市の大阪教育大学柏原キャンパスで開催される。環境教育の広がりとともに、その理論づくりや体系化が課題になっていることから、二十三日の約百五十件の事例・研究報告のあと、二十四日午前九時半から「現在の環境教育に欠けているもの」と題した報告と討論が催される。

同日午後一時からは記念講演(カナダ・ピクトリア大学のグロリア・スナイプリー教育学部長)とシンポジウム(二十一世紀に向けての環境教育)(谷口文京・甲南大学教授、川嶋宗雄・滋賀大教授ほか)もある。事務局は柏原キャンパスの鈴木研究室(07299・78・3388)へ。